戦 略 テーマ	患者の立場に立てる 医療人の育成	愛媛県民から信頼 され愛される病院	愛媛で育ち、世界に 羽ばたく医療の創造	ビジョン(理念)	患者から学び、患者に 還元する病院	]				2025年度
視		₩1: m4 → →°		戦略目標(KGI)	重要成功要因(CSF)	業務評価指標(KPI)	目標値	アクションプラン	BSCに係る	る責任部署
点		戦略マップ							担当委員会等	主な担当部署等
					(1)医業収益の確保 (収益性)	01 病院収入	270億円以上	病院経営目標による。	病院運営委員会	経営管理課
	1 1		4 }			02 病床稼働率	85.0%以上	病院経営目標による。	病院運営委員会	経営管理課
						03 平均在院日数	13.0日未満	病院経営目標による。	病院運営委員会	経営管理課
						04 新入院患者数	1,250人以上/月	病院経営目標による。	病院運営委員会	経営管理課
						05 入院診療単価	98,000円以上	病院経営目標による。	病院運営委員会	経営管理課
						- 外来患者数				
						06 ・新規外来患者数	1,250人以上/月	地域医療機関との連携を強化し、新規紹介患者獲得増 を目指す。	病院運営委員会	経営管理課
						07 外来診療単価	27,000円以上	病院経営目標による。	病院運営委員会	経営管理課
						08 高度手術の実施件数	手術部手術手技D難度以上を第3期平均実績(5,944件) の10%以上(595件増) ※R9年度末まで6,539件以上	第4期中期目標・中期計画による。		医事課/経営管理課
l 財					09 病院収入の増収提案件数	R9年度末までに20件以上	他機関の経営改善事例等を積極的に情報収集し、本院 での実現可能性について検討する。	経営改善TF 病院経営企画PT	経営管理課	
						10 査定率	0.4%以下	診療科毎に診療記録に関するレポートを発行する。		
		持続可能な 財政基盤の確保		1.持続可能な財政基盤の		11 適正な保険診療(保険診療指導対策・DPC対策)	診療科毎に診療記録に関するレポートを発行	保険診療に関する講演会を2回実施する。 特定共同指導チェックポイントを記載した病歴Newsを 5回以上発行する。 DPCの適切なコーディングに関するe-learningを実施す る。	担当副病院長及び医事	医重理
1 <del>35</del> の	1 1		確保		12 医療費率(医療費使用額/診療報酬請求額)	49.5%以下	病院経営目標による。	病院運営委員会	経営管理課	
視点					13 剰余金設定額(予算決算収支額)	1.9億円以上	病院再開発のために、第4期中期計画期間末(R9年度 末)時点で必要な剰余金16億円を確保するための年度 目標額を設定する。	病院運営委員会	経営管理課	
					(3)安定的継続運営(継続性)	14 経費率((固定費+変動費)/附属病院収益)	年間94%未満	医業活動における利益が明確になるため、より効果的・効率的な医業活動ができないかという視点でPDCAサイクルを実施する。特に固定費である人件費や委託費等を増加させる場合は十分に検討する。		経営管理課
						15 人件費比率(人件費/附属病院収益)	年間45.1%未満	雇用時に必要性および短期的長期的な費用対効果を十分に精査したうえで検討する。		経営管理課
						16 借入金等比率(有利子負債/1カ月当たり病院収益)	年間6.2程度	事業活動に対する借入金等の依存度を図るものであ り、債務償還計画と合わせて借入金等の規模が適正か どうかを判断し必要に応じ見直す。		経営管理課
						17 投資比率(キャッシュ・フローによる成長分析(投資CF/医業収益CF))	年間7.2%程度	経営ビジョンを見据え中長期的に医業活動の収支状況 を踏まえながら実施する。		経営管理課
							18 医療機器老朽化度(減価償却累計額/取得原価(資産計上額)(機械装置、工具 器具備品))	年間76.0%未満	再開発を含めた中長期的な設備更新計画を作成のうえ 機器整備を行う。	

戦 略 テーマ	患者の立場に立てる 医療人の育成	愛媛県民から信頼 され愛される病院	愛媛で育ち、世界に 羽ばた〈医療の創造	ビジョン(理念)	患者から学び、患者に 還元する病院					2025年度							
視		Wh=6 0			重要成功要因(CSF)			アクションプラン	BSCに係	る責任部署							
点		戦略マップ		戦略目標(KGI)		業務評価指標(KPI)	目標値		担当委員会等	主な担当部署等							
				1.患者・家族にとって快 適な病院づくり	(1)患者サービスの向上	19 患者満足度調査による総合評価	前年度実績を踏まえ外来85.0点、入院89.0点	自由意見の拾い上げに加えて、患者満足度調査結果の ローデータを用いて、項目毎、部門毎に分析すること で、改善活動を強化する。									
						【診療までの待ち時間】前年度実績を踏まえ診療予約 からカルテ記載までの時間が30分以内の患者率50%以 上 【会計までの待ち時間】 前年度実績を踏まえ会計ま での平均待ち時間10分以下	【診療までの待ち時間】3か月ごとの待ち時間について 実績データの収集・分析、適正な診療予約枠設定、不 要な早期来院者を減らす対策等、待ち時間への対応策 を医療サービス推進委員会で検討する。 【会計までの待ち時間】定期的に実績データを収集 し、分析を行い、待ち時間短縮のための改善を図る。	医療サービス推進委員	責 看護部/医療サービ ス課/医事課								
						21 患者からの苦情・意見への対応	発生認知から5日以内	目標値を維持する。									
		安全・安心な 医療の提供		2.患者の医療ニーズへの 対応	信	22 ヘルスアカデミーによる情報発信回数	年間4回以上	外部施設の活用は患者の利便性が高いため、現状維持とする。施設使用料支弁に見合うよう、その時々での関心の高いテーマにより市民公開講座を開催する。 (※診療科の施設使用料負担を検討していく)		看護部/医療サービ ス課							
					(2)チーム連携による患者中心の高度急性期医療の提供	病床機能報告における高度急性期機能に該当例とされている病床(ICU・ICU2・ SCU・NICU・GCUの合計)の稼働率	70.0%以上	課題を抽出し解決案を立案する。		経営管理課							
					(3)慢性期及び終末期患 者への後方支援	24 入退院支援加算算定数	5,000件/年	病棟での入退院支援業務の充実を図る。	TMSC責任者会議/経 営改善TF	TMSC/医事課							
					(1)医療安全対策の強化	25 インシデントレポート等分析報告	レポートの報告件数が病床数の5倍、そのうち1割が医			医療安全管理部/医療サービス課							
						26 医療安全に関する現場ラウンド	師からの報告 年2回以上、全部署実施	化する。(職種別報告数に注視) 現状の医療安全に関する現場ラウンドを年2回以上、全 部署実施する。									
						27 医療安全に関する啓発活動	年10回以上、講演会、研修会を実施	目標値に則して、講演会、研修会の年度計画を作成す る。									
Ш		地域医療				28 病院管理者による現場ラウンド	年10回以上	病院長、看護部長等による現場ラウンドを実施し、各 部門等の課題抽出を行う。		総務課							
顧			( <u> </u>		LJ								- クリニカルパス適用				
客					是 (2)医療の質に関する検 討	29 ・クリニカルパス適用率	年間50%以上	医療スタッフ連携によるクリニカルパスを作成・見直									
$\overline{}$				3.安全・安心な医療の提供(医療の質の改善)		30 ・クリニカルパス見直し率	30%以上	しを実施する。									
患 <b>者</b> ○						- 評価指標(QI):プロセス(医療の過程)関係指標 ・脳梗塞の早期リハビリテーション実施率(脳梗塞で入院し、入院後4日以内に リハビリを開始できた比率)	2023年度国立大学病院中央值85.1%以上	継続的に評価を行い、医療の質向上、維持につなげ									
の 視			: I			32 ・手術あり肺血栓塞栓症予防対策実施率(特定の手術をした患者に対する肺血栓 塞栓症(エコノミークラス症候群)の発生予防を実施した比率)	2023年度国立大学病院中央值91.2%以上	る。医療会	医療業務の質改善委員 - 会								
点						- 評価指標(QI):アウトカム(医療の結果)関係指標 33 ・褥瘡発生率(入院患者に褥瘡(床ずれ)が発生した比率) ・多剤耐性緑膿菌(MDRP)による院内感染症発生患者数(多剤耐性緑膿菌	2023年度国立大学病院中央值0.5%以下	継続的に評価を行い、医療の質向上、維持につなげ									
						34 (MDRP) が 院内にて感染して発症した患者の数)	2023年度国立大学病院中央值0.0以下	<b>3</b> .									
	地域		・家族			35 診療記録の質的監査件数	年間120件以上	多職種による診療記録監査を継続的に行い、診療記録 の質を担保し、医療の質向上・維持につなげる。	診療記録管理委員会	医事課							
	機関	<b>3の          </b>	って			36 病院管理者による現場ラウンド(再掲:28)	年10回以上			<u> </u>							
	機能	分化	ς θ		(3)感染管理対策の強化	37 医療関連感染サーベイランス 38 感染管理対策に関する現場ラウンド	国公協サーベイランス値と比較して中央値以下 侵襲リスクが高い部署は年2回以上、それ以外の部署は 年1回以上	感染対策に関する啓発活動、感染発生時の早期介入。 侵襲リスクの高・低に応じた現場ラウンドを実施す る。(侵襲リスク高:年2回以上、侵襲リスク低:年1 回以上)	- 院内感染対策委員会	感染制御部/医療							
						39 手指衛生サーベイランス	全セクション1患者あたり10回以上	現場ラウンドでのフィードバック、講演会等による啓 発活動。	=	サービス課							
		\     /				40 院内感染に関する研修会参加率	1人2回以上の参加 100%	研修会への参加促進を継続する。	_								
						41 平均在院日数 (再掲:03)	13.0日未満										
						42 新入院患者数 (再掲:04)	1,250人以上/月										
		\       /				43 紹介患者数	1,200人以上/月	病院経営目標による。	病院運営委員会	経営管理課							
							44 逆紹介患者数	950人以上/月	病院経営目標による。	病院運営委員会	経営管理課						
				4.地域医療機関の機能分 化	(1)444保存体本性不停产	45 HiMEネットを用いた患者同意数	R9年度末までに1,200件以上	第4期中期目標・中期計画による。	TMSC責任者会議	TMSC/医事課							
					(1)地域医療連携の病病 連携・病診連携(後方病 床との連携)の強化	46 寄附講座件数	R9年度末までに20件以上	第4期中期目標・中期計画による。		総務課							
						47 入退院支援加算算定数(再掲:24)	5,000件/年	病棟での入退院支援業務の充実を図る。									
						48 連携病院訪問	年50回以上	連携病院に対し、当院での治療内容や転院後の医療・ 看護について説明を行うことにより円滑な転院を目指 す。									
						49 TMSC入退院相談依頼件数	年間7,000件以上	入退院相談・支援を推進する。	TMSC責任者会議	TMSC/医事課							
		$\bigvee$				50 救急搬送者数	年間800件以上	救急搬送者数の増加及び救急患者受入体制の充実を図 る。									

### 1997	2	2025年
### (1997年) 19 (1997	BSCに係る責任部署	
Manual Process	<b>主な</b> 指	主な担当部署等
「日本の日本	医事課	<u></u> 事課
### 17 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
1	医事課	<b>事課</b>
(2012年7年10日 日本)	医事課	<b></b> 事課
### 2012年	医事課	<b>事課</b>
27 - ALE (2015) 27 - ALE (20	人事労務	事労務課/医事詞
20	看護部/	護部/医事課
# (		
	医事課	<b>事課</b>
(2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	員会 医事課	<b>事課</b>
(2)に成死の対象が通り (2)に成死の対象が通り (2)に成死の対象が通り (2)に成死の対象が通り (2)に成死の対象が通り (2)に成死の対象が通り (3)に対していると、 (4)に対象は基本 (4)に対象は (4)に対象は基本 (4)に対象は基本 (4)に対象は対象は対象は対象は対象は対象は対象は対象は対象は対象は対象は対象は対象は対	員会 医事課	<b>事課</b>
の変数 53 第1925会の基本語 2 マナウ病を発展 2 5% マナウ病を発展 2 マナウ病を発展 2 5% でする 2 5% を発生する。	看護部/紀/医事課	護部/経営管理認 医事課
1 日本の公園の大阪   1 日本の大阪   1 日本の公園の大阪   1 日本	医療情報	療情報部/医事詞
V 学習 と 成長   一次   一次   一次   一次   一次   一次   一次   一	付委員 人事労務!	<b>事</b> 労務課
N		
1		
V 学 書 名の	経営管理	営管理課
大きな   10   10   10   10   10   10   10   1	村委員 人事労務語	事労務課
では、	看護部/	護部/人事労務認
R	総務課	务課
日本の   日本	総務課	务課
視点     (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	総務課	务課
点       73 ・臨床研修医数 (本院)         25人以上       25人以上         合臨床研修センターは、当院臨床研修医の確保のみならず、愛媛県内の研修医を確保する役割を担っており、県内基幹型連携病院と連携し説明会の開催及び参加、並びに会議等にて情報交換を行い、研修医の獲得		
造   成		
		合臨床研修セン ー/総務課
(4)実習・研修施設とし ての充実 75 受託実習生・病院研修生等の受入数 年間650人以上 タ職種(受託実習生・病院研修生等)の受入施設とし ての充実を図る。	総務課	多課
<b>働きやすい病院づくり</b> 3.基礎研究と臨床研究の は確保を関係では、	W/\2F=m /	24 = m / T T
働きやすい病院づくり   融合   基礎医学の研究結果の臨床実証   77 臨床検体を用いた論文数   R9年度末までに第3期平均値比10%増(163件以上)   第4期中期目標・中期計画による。	一一 総務課/	務課/研究協力認